

■（５０）おかげさまで５０回を迎えました！

朝日 Teachers' メールを担当者に背中を押されて始めた小欄がほぼ１年続きました。学習指導要領の改定で新聞が学校で使われる機会が増えるなら、残念ながら新聞と接点のなかった先生たちにも記事に興味を持ってもらいたいという思いからのスタートでした。

テーマは毎回、授業で使われるとしたらどんな場面だろうかと想像しながら探しています。みなさんに新聞の仕組みや記者の動きや思考、記事の書き方などをできるだけ正直に書いて示せば、子供たちにも新聞の面白さが伝わると期待しています。同時に、執筆を通じて、記者や新聞社がどう活動しているか、を客観的に振り返る場にもなっています。

この半年の間、２度にわたって、先生たちの前で、震災報道について語る場もいただきました。週末や夏休みを使って、被災地でボランティア活動をしている先生たちが多いことには驚かされました。自らの目で被災地を見ながら支援活動をし、肌で感じたことを子供たちに伝えたい、という使命感のようなものが伝わってきました。

そんな先生らに「へえっ」と反応してもらえる話を５１回目からも届けたいと思います
(山)